

# 新型コロナウイルス感染症対策

## ガイドライン

— 一祭実行委員会 —

一祭実行委員会 感染症対策本部

## 1.はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）（以下コロナウイルス）が世界規模で蔓延し、日常生活において様々な行動変容求められている。現在、東京や大阪など大都市圏を中心に、これまでにない急速な感染者の増加がみられており、常に適切で十分な予防対策を講じる必要がある。

本ガイドラインは、「一祭」の開催にあたり、コロナウイルス感染予防対策として、「新しい生活様式」に則る対策ガイドラインを作成し、これを実践する。

## 2.適用範囲

本ガイドラインは、当祭り当日及び当日以前において適用される。適用期日は2021年5月27日～6月27日とする。

## 3.適用対象

当祭りにおける参加者及びスタッフ

## 4.基本方針

- ・参加者の日々の体温・体調チェックの徹底
- ・コロナウイルス感染の恐れが少しでもある場合、該当メンバーまたは所属チームの参加の停止
- ・参加者のマスクの着用の義務化
- ・原則無観客での開催とする
- ・参加チーム同士の接触はできるだけ避ける
- ・こまめなアルコール消毒、手洗いうがいの徹底
- ・密閉、密集、密接の三密を避ける
- ・練習場所や練習時間の分散
- ・感染者が確認された場合、迅速な対応を行う
- ・濃厚接触者が確認された場合、迅速な対応を行う
- ・ソーシャルディスタンスを保つ
- ・発熱・風邪・咳・味覚障害の症状がないか、さらに、二週間以内の渡航や感染が拡大している地域への訪問がないかの確認を徹底

## 5.基本方針に基づく<参加者>の感染予防対策

### ●当日以前

#### (1)参加者の個人情報(名前・連絡先)を把握し、名簿を作成する。

→5月27日から6月27日(当日)まで、感染症対策本部で管理

#### (2)参加者の検温・体調管理を毎日行う

→実施日:6月13日(二週間前)~6月27日(当日)

方法:①毎朝起床後に検温する

②体温が表示された体温計の写真を撮影する

③チーム・回生ごとのLINEグループを作成し、体温計の写真を添付する

④Googleスプレッドシートにて担当者が管理する

※体温が37.5℃を超えることが二日以上続いた場合、PCR検査の実施を義務化し、結果が出るまですべての活動を自粛する。

※また、平熱より体温が高い、体調チェックの項目に該当する人がいた場合、まず担当者が当該メンバーに個別に連絡を取り、詳しい内容を確認する

#### (3)参加チームの練習における感染予防対策の徹底

### ◎練習前

・練習日の外出前に以下の事項に当てはまる場合、練習への参加を控える

▶平熱を大きく上回る体温

▶咳、のどの痛みなどの風邪の症状

▶倦怠感、息苦しさがある

▶味覚や嗅覚の異常

▶同居家族や身近な知人に感染が疑われるものがある場合

▶過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を要する国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

・毎練習時に、参加者の名簿を作成し、体温のチェックを行う

### ◎練習中

・活動中はマスクの着用を義務化する。

→マスクは隙間から飛沫が漏れないように、各自適切なサイズのものを用意する

→マスクから鼻を出したり、顎まで下げたりしない

→マスクを清潔に保つ

・練習は、三密を避けるため、場所と人数の分散を徹底する

→屋内で練習を行う場合、定期的に数分程度の換気を行う

・飲料水の回し飲みを禁止する

→給水は各自で用意する

→飲料水を手にする前にアルコール消毒などを呼びかける

・集合時・飲食の前後・トイレ後など、こまめな手洗いうがいや手指消毒を徹底する

・手で顔を触らない

・円陣などの、身体的接触が伴う活動は基本的には行わない

・演舞内の身体的接触が伴う行為（例：扇子の受け渡し振り等）後は、手指消毒を徹底する

・旗やマイク、スピーカーなど複数人が触れる道具は、触れる人数を必要最低限とし、個人が利用するたびに消毒を行う

◎その他

・更衣室や休憩室、待機室で、人数に対してスペースを広く用意し、密を防ぐ

→複数人が触れることが考えられる場所（ドアノブ、テーブル、いす等）についてはこまめに消毒をする

→換気扇を常に回しておく

・練習前後における大人数での会食などは控える

・チーム員が、日頃より感染症防止対策の重要性を理解し、感染防止に努める

(4)よさこい活動以外の外出時も、マスクの着用を徹底する

→マスク未着用の者は練習に参加することを認めない

(5)「新型コロナウイルス接触感染アプリ（COCOA）」をダウンロードする

(6)感染者や濃厚接触者が確認された場合あるいは感染が疑われる者が発生した場合、迅速な対応を行う

◎感染が強く疑われる場合

→下記のように感染が疑われる当人は、すぐに医療機関に連絡する

▶息苦しさ、倦怠感、高熱等の強い症状、味覚障害のいずれかがある場合

▶風邪や咳などの症状が4日以上続く場合

▶症状が強いと感じる場合や、解熱剤などを飲み続けなければ症状が改善しない場合

→医療機関に連絡後、感染症対策本部に連絡をする

→結果が出るまですべての活動を自粛する

※該当者は、陰性・陽性を問わず、本企画等への参加辞退を打診する場合がある

### ◎感染が確定した場合

→感染者が確認された場合、保健所及び医療機関の指示に従う（治癒するまで指定医療機関で入院となる。ただし、軽症の場合は指定宿泊施設もしくは自宅での療養が指示され、保健所が健康観察を実施する場合がある。）とともに、感染症対策本部及び企画担当者へ連絡を行う

→感染者発生が、参加者の検温実施日（6月13日）以前であること、かつ感染者または感染者の所属チームが、他の参加者と一切接触がないことが確認できた場合、感染者の所属チームのみ出場停止とする。

※検温実施以前であっても、感染者または感染者の所属チームと、他の参加者の接触が少しでも確認された場合、**当企画は中止とする。**

※検温実施以降であった場合、感染者または感染者の所属チームと、他の参加者との接触が一切ないことが確認できたとしても、**当企画は中止とする。**

→なお、一祭実行委員会スタッフ内で感染者が確認された場合、いかなる場合であっても、**当企画は中止とする。**

### ◎自分が濃厚接触者と確定した場合や自分が訪れた場所で感染者が確認された場合

→感染症対策本部及び企画担当者へ連絡を行うとともに、他者との接触を避ける

→医療機関からの指示に従い、指示事項を感染症対策本部及び企画担当者へ伝える。判明した日から、14日間の自宅待機となる。

→体温測定を毎日実施し、体調とともに記録する

### ●当日

#### (1)会場までは分散して移動する

→複数グループに分け、公共交通機関の時刻を指定する

#### (2)会場に入る際には、非接触型体温計を用いて検温を行う

→感染症対策本部が会場入り口にて行う

#### (3)会場の出入り口及び施設内にアルコール消毒を設置し、使用を徹底する

(4)休憩時は対面での飲食や会話はできるだけ控え、十分なスペースを確保し、密にならないように努める

#### (5)マスクの着用を徹底する（演舞中もマスク着用を徹底）

#### (8)参加者同士の接触をできるだけ避ける

→やむを得ず接触する場合は 1.5m～2mの距離を取ること

→待機場所は参加者に対して広めにスペースを確保し、チームごとに場所を指定する

【感染症対策本部及び企画担当者の連絡先】

一祭企画代表者：松崎太聖	09029147740
	k38matsuzaki@gmail.com
感染症対策本部代表者：早乙女千優	07013923518
	tome.7606.03@gmail.com
感染症対策本部共通アドレス	hajimesai.covid19taisaku@gmail.com
企画担当者共通アドレス	hajimesai.2021@gmail.com

【参考資料】

社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

[20200929-mxt\\_kouhou01-000004520\\_1.pdf](#)

スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

[guideline3.pdf](#)

スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト

[guideline\\_checklist.pdf](#)